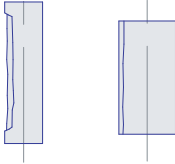
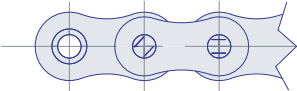
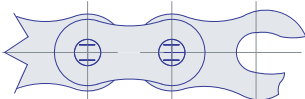
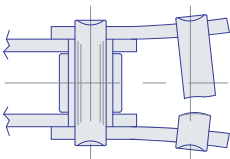
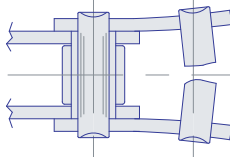

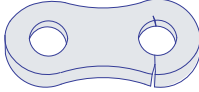
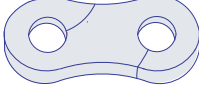
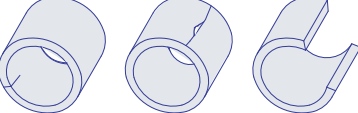
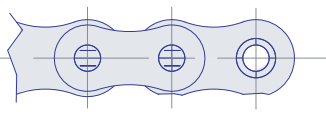


トラブルシューティングのヒント

以下の表は、最も一般的なチェーンの破損と原因を示していますが、必ずしも唯一のものではありません。

問題点	考えられる原因	対処方法
 <p>ピン又はブシュの焼付摩耗</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの過負荷 ・給油不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な給油。 ・チェーンが伸びているときは交換する。
 <p>ピンの回転</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの過負荷 ・給油不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ早くチェーンを交換する。 ・適切な給油。
過度の騒音	<ul style="list-style-type: none"> ・たるみ量が不適切 ・チェーンの障害になるものがある ・ガタのあるカバー又はベアリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・たるみ量の調整。 ・障害を点検して取り除く。 ・カバー又はベアリングのチェック。
チェーンの振動	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの過度のゆるみ ・軸間距離が長すぎる ・不円滑なリンク 	<ul style="list-style-type: none"> ・たるみ量の調整。 ・アイドルの設置。 ・給油又はチェーンの交換。
リンクプレート内部とスプロケット歯面の摩耗	<ul style="list-style-type: none"> ・調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプロケットとシャフトの再編成。 ・必要に応じて、チェーンとスプロケットを交換する。
不円滑なチェーン屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの過負荷 ・調整不良 ・給油不足 ・腐食 	<ul style="list-style-type: none"> ・強度の見合ったチェーンに交換する。 ・アライメントの点検。 ・チェーンを洗浄し、適切な給油をする。 ・耐蝕性のあるチェーンに交換する。
スプロケットへのチェン乗上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・過度のチェン摩耗 ・過度のチェンゆるみ ・給油不足 ・スプロケット歯面の摩耗 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェンの交換。 ・必要に応じて、張力を掛ける。 ・適切な給油。 ・スプロケットの交換。
 <p>プレートの破断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェンの過負荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・過負荷の原因となる駆動部の点検。 ・荷重条件に見合ったチェンを使用し、駆動部を再設計する。

問題点	考えられる原因	対処方法
 <p>ピンの破断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの過負荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・過負荷の原因となる駆動部の点検。 ・荷重条件に見合ったチェーンを使用し、駆動部を再設計する。
 <p>中央でのピンの破断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンの許容荷重を超える負荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・過負荷の原因となる駆動部の点検。 ・荷重条件に見合ったチェーンを使用し、駆動部を再設計する。
 <p>オフセットリンクピンの破断</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの過負荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・1ピッチのオフセットリンクは、推奨出来ない。 ・荷重条件に見合ったチェーンを使用し、駆動部を再設計する。
 <p>プレートの疲労破壊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンの許容荷重を超える負荷 	<ul style="list-style-type: none"> ・過負荷の原因となる駆動部の点検。 ・荷重条件に見合ったチェーンを使用し、駆動部を再設計する。
 <p>プレートの割れ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・応力腐食割れ ・水素脆性割れ 	<ul style="list-style-type: none"> ・腐食からチェーンを保護する。 ・メッキや酸洗を行わない。 ・防錆チェーンを使用する。
 <p>ローラの破壊</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チェーンとスプロケット間の異物混入 ・疲労破壊 	<ul style="list-style-type: none"> ・異物からチェーンを保護する。 ・チェーンに掛かるスピードと荷重を再検討する。
 <p>プレートのすり減り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドに擦れるため、プレート下部が摩耗する 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレート幅の5%まで摩耗していたら、チェーンを交換する。